

詩を味わおう

めあて

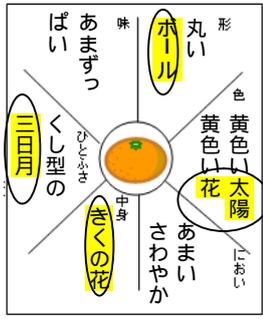
野菜や果物の持ちようをたとえて、短詩を書こう。

短詩のおもしろさを生かして書こう

短い言葉でリズムよく表現しよう。
 なぞ解きになるように書こう。
 そのもの持ちようをたとえて書こう。
 そのものの「願い」を想像して書こう。



丸くてつるつる赤い太陽
 もつすく落ちそうな赤い太陽



みかんをたとえた短詩

「ここには、「みかん」(草野心平)の詩を拡大して提示する。
 その際、「きくのはな」「みかつき」の部分をクリックで隠しておく。

作った詩を読み合おう

児童が作った詩

児童が作った詩

児童が作った詩

短詩を作って、学習したこと

持ちようをとらえて想像をふくらませ、たとえの表現を使うことで、見方や考え方を深め、味わい深い短詩を書くことができる。

持ちようを見つけ、たとえてみよう

- 形、色、中身、におい、味
- さわった感じ
- 実がなっている状態
- イメージするものにとえよう

詩「みかん」の表現の工夫

- たとえの表現
きくのはな・みかつき
- くり返しのリズム
きいろい(三回)
- 短い表現
名詞で止める
- 改行
かいぎょう

3 / 3 時間目 指導略案 使用するワークシート…
 活動のねらい

1 学習のめあてを確認する。

2 野菜や果物を題材にした詩の題名をたとえの言葉から想像させ、出来上がりのイメージや創作への意欲をもたせる。

3 みかんを例に、メモの書き方や詩の表現の仕方を考える。

4 【発問】みかんの色や形、においなどの特徴と、その特徴は何にたとえられるかを想像して、メモに書き込みましょう。

5 みかんを例に、形や色などの特徴をとらえて、比喻表現を楽しむ。

6 みかんの実物を用意し、色や形ばかりでなく、においや感触、皮をむいた形やひとふさの形など、さまざまな視点から考えさせる。

7 メモに集めた言葉を使って、詩を創作する方法を考える。

8 草野心平作「みかん」を例に、詩の基本的な特徴である改行形式、繰り返しのリズム、比喻表現などの詩の表現を押さえる。

9 メモに言葉を集め、短詩を創作する。

10 持参した野菜や果物の特徴を見つけ、イメージするものにとえて、表現メモに集める。

11 メモの中から短詩に生かしたい表現を選ぶ。

12 言葉を吟味しながら、比喻表現を生かして短詩を創作する。

13 創作した短詩を鑑賞する。

14 ペアで交換して読み合い、比喻表現のよさについて感想を交流する。

15 全体にいくつかの短詩を紹介し、題名を考えたり鑑賞したりする。

16 学習のまとめをする。

17 評価 比喻や反復などの技法を用いて、短詩を書いている。

18 比喻表現が様々であることに気付かせ、表現のおもしろさを味わわせる。